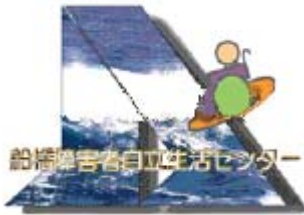


SSKP

# 船橋障害者自立生活センターニュース

2001年4月10日発行 第37号



編集：船橋障害者自立生活センター事務局  
〒273-0011 船橋市湊町1-6-12  
郵便振替「00140-9-609088」  
TEL：047-432-4554 / FAX：047-432-4565  
URL：http://www.cil-funabashi.org/  
E-Mail：cil-funabashi@cil-funabashi.org

## NPOの申請が受理されました

当センターでは、かねてからNPO（特定非営利活動法人）の認可を目差して準備を進めてきました。

昨年12月には、設立のための総会を開催し、事業計画や予算案などの承認を受けました。また、今年3月にはもう1度総会を開催し役員人事についての承認がなされました。

これは、これまで任意団体として活動を続けてきた当センターが法人として認可を受けることによって社会的にもっと開かれた団体として活動を質・量ともに拡充させていくためのひとつのステップになるものです。



これらの総会で議決された議案書および議事録を千葉県庁（環境生活部環境生活課）に提出してNPOとしての認証を申請し、4月17日付で受理されました。

従来の規約を一部変更した約款の適用を受けることになり、会員という言葉が社員に変わるなどわたしたちには馴染みの薄い手続きがいくつかあって認証の申請を提出できるまでに時間がかかりましたが認証の受理まで漕ぎ着けてひと段落しているところです。

今後のスケジュールとしては、2ヵ月間の縦覧期間を経て認証を受けることになり、登記などの手続きのあと正式に特定非営利活動法人としてスタートすることになります。

事務局一同、一層の活動の充実を目指して決意を新たにしています。会員のみなさんには、引き続きご支援とご協力をお願いいたします。

### 役員一覧

#### 理事

石栗 利之	杉井 和男	宮尾 修
川嶋 徳人	田沼 敏夫	山本 明
小山 浩二	前田 満子	和田 みどり

#### 監事

池沢 敏夫	柿沼 次男
-------	-------

（以上、敬称略）

# 今年度の事業計画および予算は次の通りです

(法第10条第1項第10号)

## 平成13年度事業計画書

特定非営利活動法人船橋障害者自立生活センター

### 1. 事業実施の方針

特定非営利活動法人 船橋障害者自立生活センターは、船橋市及びその近隣地域において、自立を目指し介助支援を要する障害者並びにその家族、その他手助けを必要とする人々に対する生活支援活動として各種福祉サービスを実施します。

### 2. 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額
介助者派遣事業	・ 介助を必要とする障害者に介助者を派遣する	適宜	船橋市及びその近隣地域	1日 1～20名	船橋市近隣に居住している障害者及び介助を必要としている人々	・ コーディネーター給料・介助講習開催諸経費・資料印刷代250千円
ピア・カウンセリング事業	・ 障害者(当事者)にしか理解できないカウンセリング事業(短期集中講座、長期講座、個人ピアカウンセリング)	適宜	船橋市及びその近隣地域	1日 1～20名	船橋市近隣に居住している障害者	・ 講師謝礼・会場費・介助者介助料①
自立生活技能プログラム実施事業	・ 自立生活を目指す障害者に体験を通した自立の為に必要な情報提供	適宜	船橋市及びその近隣地域	1日 1～20名	船橋市近隣に居住している障害者	・ 講師謝礼②
リフトカー等による移動サービス事業	・ 福祉施設、学校、自宅、病院等の指定場所への移動及びその介助	適宜	船橋市及びその近隣地域	1日 1～10名	船橋市近隣に居住している障害者及び介助を必要としている人々	・ 車維持経費300千円
相談及び情報提供の事業	・ 地域生活、日常生活における相談・インターネットによる情報提供・機関紙の発行	適宜	船橋市及びその近隣地域	1日 1～20名	船橋市近隣に居住している障害者及び介助を必要としている人々・障害福祉に関心を持っている人々	・ 機関紙印刷代③
行政からの受託に基づく事業	・ 船橋市障害者生活支援事業	適宜	船橋市及びその近隣地域	1日 1～10名	船橋市近隣に居住している障害者及び障害福祉に関心を持っている人々	(① + ② + ③) 5,000千円

#### (2) 収益事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	収入見込み額(千円)
販売事業	・ 障害者の制作した創作品の販売事業	適宜	船橋市及びその近隣地域	1日1～20名	収益 0円

「支出見込み額」には、人件費の他、施設維持費（水道光熱費等）・保険代・車両移動費・通信費（電話代・印刷費）等が加算される。

# 全身性障害者介護人派遣事業がはじまります

当センターでは、今年度から船橋市からの委託を受けて『全身性障害者介護人派遣事業』を実施することになりました。これは、2年前から市に対して要望を続けていたことで、脳性麻痺を中心とする手足と体幹のいずれにも障害をもつ人で日常生活に介助を必要とする人の介助料を公費で負担する制度です。当面は、1日4時間という枠があり、時間帯にも制限がありますが、24時間介助保障の実現に向けての第1歩と考えています。この制度を利用することで昼間は1時間あたり1,200円、早朝と夜間は1,400円の介助料が船橋市から支給されることとなります。

つきましては、この制度の目的や趣旨を理解していただき、この事業がスムーズにすすめられますように下記の要項で介助講習会を開くことになりました。介助者のみなさんには別途ご案内をお送りする予定ですが、ぜひ多くの方のご参加をお願いいたします。

## 記

### 1. 日時

5月～6月の4回シリーズとして、毎回13:00～16:30の開催とする。

### 2. 会場

船橋市女性センター研修室（Tel.047-423-0757）

### 3. 規模

定員30人として出欠の返事をとり先着順とする。



### 4. プログラム

5月26日（土）

全身性障害者および介護人制度についての講演や説明その他

講師 三ツ木 任一（放送大学教授）・市原 悟（船橋市障害福祉課）

5月31日（木）

実際の介助に必要な技術・知識・情報等を得るための講習

講師 松川 基宏（理学療法士）

6月1日（金）

介助に必要なコミュニケーションの技術や知識を得るための講習

講師 新田 綾子（作業所太陽 作業療法士）

6月4日（月）

障害者の希望やニーズを中心にしたテーマごとの討議と話し合い

講師 松川 基宏（理学療法士）

（敬称略）

## 自立生活プログラムのお知らせ

季節は冬から春にかわり、だいぶ暖かくなった頃だと思いますが、いかがお過ごしですか。

さて、今回は平成13年度自立生活プログラムのお知らせをさせていただきます。私たちセンターはつねに『どんな重い障害をもっている地域で生き活きと暮らせる環境づくりを』をモットーに活動してきました。今回は、より幅広くいろいろな人にセンターを知ってもらい、自立生活の楽しさ、良さを伝えるため、この講座を企画しました。

ここで言う自立生活ってなあに？

自立生活というのは、本来は、自分で収入を得て、自分で家事などをやらなくてはいけなと思われがちなのですが、それは違います。ここでいう自立とは自分のやることを親や、周りの人に決められなくてもいい。自分で決めて自分が中心になってやっていいということなのです。

それって知識がいるのでは？

知識のある・ないはあまり関係ありません。どんなふうにするのかわからない場合はみんなで考えましょう。どうしてもわからなかったらリーダーやサブリーダーを頼ってもかまいません。

参加資格は？

障害をもっていれば誰でもかまいません。全部で10回の連続の通いの講座だけど、みんな素敵なテーマだから全部来てくれるとうれしいです。

参加を希望する方は、閉じ込めである申込書を郵送かFAXで送ってください。また、Eメールによる申込みでも結構です。

なお、申し込みのしめきりは5月7日です。皆様のご参加をお待ちしております。

自立生活プログラム  
担当 石栗

# チャリティーバザー

## 出店にご協力をお願いします

私たち、船橋障害者自立生活センターは、NPO法人格を取得する予定です。また、全身性障害者等介護人派遣事業の実施も予定されているなど、センターの活動や私たちの生活が大きく変わる見通しです。



しかし慢性的な財政難はいまだに解消されていません。新しい事務所を探している最中ですが、改造費や移転のための費用などの捻出にも苦労している状況です。そこで、日常の運営費や事業の拡大に必要な資金の確保、さらに私たちの活動を地域の人たちにもっと知ってもらうことを目的としてチャリティーバザーを実施することにしました。そこで、バザーに出品する品物を広く募集しますのでご協力をお願いします。

こんな品物だったら大歓迎です



本、食器、衣料品、ゲーム、CD、ラジカセ、ウォークマン、その他バザーにふさわしいものなら大歓迎です。また、贈答用であまったタオル、食器、買い替えのときに不要になった小型家電製品なども大歓迎です。



### バザーの収入はどうするの？

バザーの収益は、日常の運営費のほか、新事務所設立のための資金など、センターの運営に役立てます。

### バザーの予定日時は…

7月の最終土日に行われる産業祭りを候補としています。



# 新スタッフ紹介



新年度がスタートしました。春は出会いと別れの季節ですが私たちのセンターでも事務局スタッフの交代がありました。新しくスタッフに加わってくださった皆さんをご紹介します。これから、会員の皆さんとはいろいろなかたちで触れ合うこととなりますがよろしく願います。

## 梶井 きみ代

**こ**の4月から、コーディネーターとして自立生活センター事務局スタッフの一員となりました梶井きみ代です。

**例**年ですとこの時季は、お花見のハシゴ・草摘み等と遊びを満喫していたのですが、今年はまったく違った春を迎えることになりました。長いこと家庭のぬるま湯の



中での生活で休耕田のようになっていた脳にとって電気ショックでも受けているような緊張の日の連続です。回転の速い若いスタッフについていかれるのがちょっぴり不安です。

**セ**ンターとは、介助会員になって4年ほどの関わりになります。長年の経験から持ち得た僅かばかりの知恵と、時には空回りすることもあるやる気だけは充分(?)あるつもりです。しかし、障害に対する知識はまだまだこれから学ぶことばかりです。スタッフとなってまだ日も浅い私ですが、利用者の希望に添えるよう介助者を探し当てるのは大変で、登録してくださっている介助者名簿とにらめっこをしている毎日です。障害者が、日々の生活の中で必要な時に必要な介助が受けられるようにしなければなりません。役がら、皆さんのお耳にかかることが多くなることとおもいます。不慣れで失礼なこともあるかもしれませんがご協力よろしく願います。また、近況や情報…どんなことでもお聞かせいただけたら嬉しく思います。

**皆**さんでより開かれたセンターにしていきたいと思います。





## 佐野 光宏



4月より「WAVE ぶんばし」のスタッフになりました佐野光宏です。介助派遣のコーディネートを担当します。昨年、大学の林学科を卒業して、この1年間、世田谷区と、船橋市で障害者介助のバイトをしていました。大学が世田谷区にあり、大学時代友人に紹介されて障害者介助のバイトを始めました。世田谷では4人の人の身辺介助、家事援助、外出介助、入浴介助、宿泊介助を行い、船橋では週2回宿泊介助をしていました。世田谷では自立生活センター「HANDS世田谷」の障害者スタッフの方の半専従介助者として介助をしていました。昨年「HANDS世田谷」の姉妹組織「ケアズ世田谷」の主催するホームヘルパー2級講座で2級の資格を取得しました。

世田谷では障害者の介助のあり方を学びました。障害者は多くの場合限られた範

囲のなかで生活を強いられてきた過去があり、本来経験するはずのことから遠ざけられていました。そうした失われた過去を取り戻し精神的、社会的自立を目指すのが「ILPプログラム」であり、本当の自分を知り、自己の解放を目指すのが「ピア・カウンセリング」です。そんな中介助者はまず、障害者の意思を尊重することが第一です。障害の中には言語障害などもあり初めはなかなか意思がわからなかったり、介助者が自分でやった方が早く事が済む場合がありますが、それをやってしまっていると障害者は受け身の生活を強いられて続けて自立した生活を遅れませぬ。介助者はなるべく口出しせず我慢することが大切なことです。これはなかなかストレスのたまることですが、相手のことを理解してコミュニケーションが取れるようになれば次第にストレスを感じることも少なくなっていくます。

これから今までの経験を生かしてがんばりますのでよろしくお願ひします。

## 新スタッフ紹介



鬼山 功

この度、センターのスタッフに加えていただいた鬼山功（おにやまいさむ）と申します。

私もとも、私がセンターと関わりをもたせてもらうようになったのは一年半ほど前のパリアフリーマップのお手伝いがきっかけでした。その後は、時々顔を出す程度しかお付き合いがありませんでしたが、今回思わぬ依頼を受け正直驚いているところです。

担当としては、主として会計をやらせていただくこととなりました。また、学生時代は都市計画を専攻していましたので福祉、パリアフリーのまちづくり等どちらの方面、視点からも発言していけるよう、勉強していきたいと思っております。

若輩者ですので、会員の皆様のサポートなどではもたつくことも多数あることと思ひます。なにとぞ、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。

## 事務局の動き

### 1月

- 20 障害連二次障害学習会
- 23 パソコン教室
- 25 ピアカウンセリング長期講座
- 27 女性センター利用者懇談会
- 30 パソコン教室

### 2月

- 1 ピアカウンセリング長期講座
- 2 連絡調整会議
- 6 パソコン教室
- 6 ホットin 船橋開会式
- 8 ピアカウンセリング長期講座
- 9 事務局会議
- 12～14 所長セミナー
- 13 パソコン教室
- 14 介助講習会
- 15 ピアカウンセリング長期講座
- 15 市役所へ要望書提出
- 16 連絡調整会議
- 16 地域新聞取材
- 20 パソコン教室
- 21 介助講習会
- 22 ピアカウンセリング長期講座
- 23 事務局会議
- 27 パソコン教室

### 3月

- 1 ピアカウンセリング長期講座
- 2 連絡調整会議
- 10 コンサート打ち合わせ
- 13 パソコン教室
- 14 春の集い
- 15 市原訪問
- 15 県庁訪問
- 16 連絡調整会議
- 23 事務局会議
- 23 全身性プロジェクト
- 27 パソコン教室
- 28 全身性プロジェクト
- 29 県庁訪問
- 30 連絡調整会議

### 4月

- 3 パソコン教室
- 5 全身性プロジェクト
- 6 事務局会議
- 10 全身性で市と協議

## 会員の皆様へ

平成13年度の会費の納入をお願いいたします。会員の約半数の方が未納となっています。なお、自分の会費が支払われているかどうかの確認をとりたい方はお気軽にセンターまでお問合せください。

平成12年度の会費の納入がまだ済んでいない方がいらっしゃいます。速やかに納入してください。よろしくお祈いします。

何らかのご都合で退会をご希望の方は、できるだけ早めにお知らせください。

## 介助サービス利用者および介助者の皆様へ

介助料の受取りと支払いの方法について

利用者の皆さんは、5日までに前月分の介助記録表をセンターまで送付してください。また、10日までにセンターから介助料請求書を送付しますので、15日までに介助料を入金してください。

介助者の皆さんには、利用者からの入金があり次第、20日から介助料を支払います。

## 連載休載のお知らせ

安積遊歩さんの連載は、都合により休載します。次号からご本人の推敲されたものを掲載する予定です。乞うご期待。

## カンパのお礼

前号以降、以下の皆様より温かいカンパをいただきました。厚くお礼申し上げます。（順不同）

豊島 ひろみ様	渡辺 慶子様	前田 満子様	佐藤 達郎様
石栗 緋紗子様	遠藤 高子様	稲場 三郎様	遠藤 すず枝様
土井 和子様	嶋田 裕敬様	桜井 きみ代様	中原 晃子様
小出 敬子様	土橋 光雄様	杉井 和男様	田沼 敏夫様
牧野 忠夫様	高木 恒雄様	多田 長夫様	麓 佳正様
和田 和子様	谷口 伊三男様	大橋 みち様	篠崎 道雄様
田嶋 華子様	山形 正夫様	津久井 大助様	寺本 ヨシ子様
宮尾 修様			

### 編集後記

春うららかな、1年のなかでもっとも過ごしやすい季節となりました。

私たち「WAVEいなばし」もおかげさまで設立10年を迎えました。今年度からは3人の新しい事務局員も入り、新体制でこの節目の年度をしっかりと乗り切っていく所存です。

皆様も元気に新年度の活動を共に推進してまいりましょう!!

(YA)

同封の郵便振替用紙は会費、介助料、カンパなどを送金していただく際にご利用ください。

発行所 東京都世田谷区砧6-26-21  
障害者定期刊行物協会  
頒価 100円